

過去現在未来を結ぶ活動を通し、豊かな毎日を過ごしましょう!!!

町の神社で初詣

★初詣も大きな有名神社はコロナ対応で厳しい制限をしています。そこで町内の神社はいかがですか。マスクとフェイススタンスをお願いします。

★御神前には海や山の幸が供えられてきました。その中でも特に米を白紙で巻いて包み「おひねり」としてお供えしました。感謝の気持ちと豊かな生活が送れるように祈ってきました。

旧生浜町役場庁舎は
平常開館です。

マスク等感染予防
対策対応中

火・木・土曜日
9:00~16:30

まだまだ
続く「コロナ
感染」
もうしばらくは各自の
自覚ある行動で感染拡大を防ぎたい
ものです

生浜地域誌

20.12.12

第55号

発行 NPO法人ちば・
生浜歴史調査会
電話 080-
5387-2592

天満宮とは

塩田町207番地

「千葉市の神社」でネット検索可能…
菅原道真公。創建年代は不
明、北生実第二区の鎮守でし

からは中世の**板碑**（いたび）
が建てられています。

「海の碑」には昭和36年
2月25日に生浜漁業組合が漁
具放棄した経緯が記されてい
る。以来の貝類養殖や海苔養殖
と昭和の観光漁業の**善立**（す
きにぎわった漁場が消滅した
のがわかります。

鎌倉時代から江戸初期にか
ら行われた、死者の追善供
養に建てた平たい石の卒塔
婆・とうば。最上部を三角
形、その下に深彫りの横線を
刻み、像・梵字(ぼんじ)、年月日・
などを刻む。関東に多く、秩父
地方のものを青石塔婆とい

ながらの漁法のひとつで、
海中に簀を立て、満潮時これ
で魚を干潮を待つ
方法。

近年には道路になってしまい、移転さ



浜野の諏訪神社とは

中央区浜野町445番地・・・

…「千葉市の神社」でネット検索可能…

- 長野の諏訪大社より**勧請**（かんじょう）されたという。
- かつては、境内は松が鬱蒼と茂っていたというが、明治16年（1883）8月の落雷で社殿とともに焼失した。現在の社殿はその後数次に渡り再建されたものである。宝暦5年（1755）の「浜野村滞絵図」には諏訪大明神として描かれており、当時の様子がうかがい知られます。（千葉市教育委員会掲示より）

勧請（かんじょう）… 神仏の分身・分霊を他の地に移して祭ること。

村田の神明神社とは

中央区村田町418番地

…「千葉市の神社」でネット検索可能…

●伝説では日本武尊（ヤマトタケル）

浜野の第六天神社とは・・・「でーろくじんさま」と親しまれています。・・・

- 境内には五穀豊穡を叶えてくれる八坂神社（祭神はスサノオノミコト）と麻布など織物を始めた神の第六天神（祭神はオモダルノカミとアヤカシコネノカミ）が祀られています。
- この境内は古墳だったといわれ、明治の中頃まで道普請に墳丘の土が使われたといわれています。
- 参詣人には「おせんまい（お洗米）」が授与されます。しかし今回はコロナの関係で中止。
- 3月20日の例大祭には浜野祭囃子保存会の御囃子（おはやし）が奉納されます。しかしコロナの関係で未定とのことです。

お洗米・・・特に、神仏に供えるために洗った米。



有吉の日枝神社とは・・・「千葉市の神社」でネット検索可能・・・

緑区おゆみ野中央5-2-2

- 有吉貝塚の上に鎮座。祭神は**大己貴命**（おおなむちのみこと）であるが、神社名は**山王信仰**による。
- 創建年代は不詳ですが、明治元年社号を山王社から日枝神社へ改めたといえます。
- 境内社のほかに旧有吉町に所在した子安神社・第六天神社・道祖神を**合祀**（ごうし又は、がうし）した。

大己貴命・・・「古事記」では大国主神（おおくにぬしのかみ）の一名とされる。

山王信仰・・・比叡山の神に対する信仰

合祀・・・神道での用語で、ある神社の祭神を別の神社で合わせて祀ること。または、一つの神社に複数の祭神が祀られている状態のこと。

生実の生実神社とは・・・中央区生実町15

51番地・・・「千葉市の神社」でネット検索可能・・・

- 戦国時代の北小弓城の守護神御霊社は、平安時代の**御霊信仰**（ごりょうしんこう）による8柱を祀り、明治42年生実神社と改称した。
- 神社の空堀の西側住宅地は、旧邸と呼ばれ、寛永5年から明治4年まで240年間生実藩の陣屋があったところです。
- 藩主は通例8～12月まで滞在し生浜の景勝を森川家祝謡に詠んだ。・・・長山の晴嵐・御寺の梵鐘・浜野の帰帆・村田の夕照・柏崎の紅葉・塩田の落雁・橋戸の夜雨・野口の暮雪（生実八景）

御霊信仰・・・「強い怨みを持って亡くなった霊は復讐のために祟（たた）る」という考えの元に生まれた信仰で、奈良時代から平安時代に広まるとされています。その頃は、死者の怨念は疫病や天災を巻き起こし、無関係の人々まで苦しめるほど凄まじい力を持つと信じられていました。そこで、そのように強大な力を持った怨霊を丁寧（あが）に祀り、怨霊ではなく鎮護の「御霊」として祟（あが）めることにしたのです。尊い存在として祟めることによって祟りを避け、逆に恩恵を受けたり護ってもらったりしようと考えたもの。

南生実の八剣神社とは

・・・「千葉市の神社」でネット検索可能・・・

中央区南生実町880番地

- 日本武尊（やまとたけるのみこと）がこの地の乱を治め、八剣神社が建てられたという。これより南を上総国、北を下総国とし、ここに天照大神（あまてらすおおみかみ）を祀り陸奥へ進軍したので、東国征夷鎮護国家の神として八剣神社が建てられたという。
- 「神宮吉野氏系譜」には、古代に麻の生産でこの地を支配した豪族「麻績連（おみのむらじ）」と縁結びしたとあり、大百池（おうどいけ）は麻を浸した池とも言われている。
- 寛弘年中（1004～1012年）源頼光が上総介（かづさのすけ…役職名）に任ぜられ赴任の折、大弓を奉納して武運を祈り地名が大弓となったという伝説もあり、麻績一大弓一小弓一生実という地名変遷が推定される。
- 神楽舞（かぐらまい）は享保元年（1716年）社殿再建遷宮に奉納され恒例となり隔年7月27日夕方から行われる。千葉市指定無形文化財。